

Title	近代ガラス史(中欧編) : 19世紀末～ 第2次世界大戦まで
Author(s)	鈴木, 佳子
Citation	デザイン理論. 2004, 44, p. 130-131
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/53264">https://doi.org/10.18910/53264</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 近代ガラス史（中欧編）

— 19世紀末～第2次世界大戦まで —

鈴木佳子／京都女子大学

### ●はじめに 中央ヨーロッパのガラス関係地図について

1900年 1920年 2000年の地図で全体を説明する。1900年には AUSTRIA-HUNGARY GERMANY RUSSIA に含まれる地域を1920年には、GERMANY CZECHOSLOVAKIA AUSTRIA POLAND HUNGARY となり2000年には CZECH REPUBLIC と SLOVAKIA は別の国になった。歴史上で国境が変化し、呼び名も変わるという激動の時代を超えて、ガラス工業はその地に根を下ろしながら、どのように変貌したかを考察する。

### ●アールヌーボー・スタイル

1851年 ロンドン博に始まる万国博はガラスの世界にも大きな影響を及ぼす事となる。1873年（ウィーン）1878年（パリ）では中欧のガラスはまだ古い形式のものしか評価されなかった。（例えばルネッサンス様式のロブマイヤーの作品・カメニッツキー・シェノフ（Steinschönau）でエングレーヴィングされ、ボル（Haida）のアントン＝アンブロス・エガーマンにより彩色されたものなど）そのことを受けて、Lロブマイヤーはウィーン一流の建築家やデザイナーにデザインを依頼する。また1885年にはプラハ工芸美術専門学校が設立され、ガラス工芸の研究が盛んになる。チェコのアールヌーボーは1890年頃よりガレやティファニーの展覧会がよく開催され、技術的にも交流がなされた。

### ●ウィーン・セセッション及びウィーン工房との関係

Mey's Neffe (Adolf Winterberg 1814-1922) チェコは1922年 Moser に吸収合併される

1814年 ヨゼフ・マイヤーにより創立

1841年 創立者の甥引き継がれマイヤース・ネッフェと呼ばれる（neffeは甥の意味）

19世紀中頃よりウィーンのロブマイヤーのエナメル絵付け、バカロヴィッツーガラス工場の下請け、レッツ・ヴィトヴェ工房のラスター彩なども手がけ、ウィーン工房の作品も創る。

デザインはウィーナー・セセッションのメンバー（モーザー、オルブリッヒ、ホフマン、ブルッチャーなど）

J & L Lobmeyr (Wien 1822～現在) オーストリア

Josef Lobmeyr (1792-1855) ガラス専門店を起こし、1837年工場生産に入る。

1855年ヨーゼフ・ロブマイヤージュニアと弟ルードヴィッヒ・ロブマイヤーの名前から J & L Lobmeyr となる。

1859年 Mey's Neffe と提携

1864年のパリ博 出品

1902年 Stefan Rath に引き継がれる。1906年頃よりWWとの関係が深くなり、1910年に J, Hoffmann が美術部長になり1912年まで続いている。Hoffmann（亀甲パターン、平カット、白と黒の線、市松、唐草文など）

Lötz Witwe Klostermühle 1836-1951) チェコ レッツ・ヴィトヴェ工房 ヨハン・レッツ (1778-1848) が創立し孫のマックス・リッター・フォン・シュパウングが継ぐ。(Witwe 工房はヨハン・レッツの未亡人の意味) この工房には、ラスター彩の作品が多くあり特にアールヌーボー風のもの初期には多い。そ

の後ウィーン工房のメンバーやマリア・キルヒナー（1852-1931）達がデザインを制作した。1911-1913年一時中断したが、1930年焼失 再建と困難にもめげず1951年まで続いた。

●前衛的装飾とガラス学校

Fachschule Steinschönau Czech  
 Fachschule Heida Czech  
 J & L Lobmeyr Wien  
 Bruno Mauder zwiesel Germany  
 Fachschule für Glasindustrie zwiesel

Lötzwitwe Klostermühle

Joh, Oertel & Co. Haida

L. Moser & Söhne Karlsbad Czech 1857-現在

●Eiff とエングレーヴィングの技法

Wilhelm von Eiff Kunstgewerbeschule  
 Stuttgart Germany

J & L Lobmeyr Wien

Werkstätten Richard Süßmuth Penzig  
 Poland

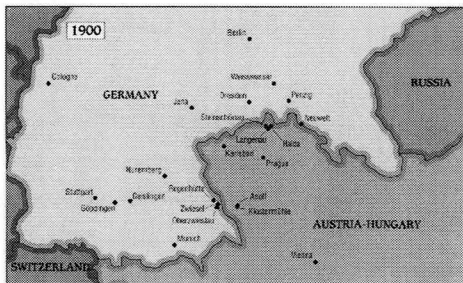
●インダストリアル・デザイン

Bakalovitz Söhne 1845-  
 Perter Behrens Koloman Moser J. M.  
 Olblich Josef Hoffmann  
 Wilhelm Wagenfeld bauhaus)  
 Jenaer Glaswerke Schott & Gen. Jena  
 Germany

Vereinigte Lausitzer Glaswerk AG Weiss  
 wasser Germany

中欧でウィーン工房や bauhaus がアール・デコからインダストリアルデザインにむかっていく頃、西欧も北欧もアメリカもそれぞれのガラス産業が発達し現代では地域の特徴より作家個人のデザインが大きなウエイトを持ってきた。1960年代のスタジオ・グラスの時代を超えてますますその傾向が強まって、あまりにアートの世界のみに重点が置かれ過ぎて

ガラスの日常品が押しやられてきた今日、北欧のデザインが見直されるのもうなずけるように思う。



J & L Lobmeyr J. Hoffmann